

総務環境委員会 2011年度決算審査 田口一登議員

プラスチックや小型家電などの区分は市民が混乱しやすい ごみの分別収集はわかりやすく

総務環境委員会で田口議員はごみの分別収集について質問しました

ごみの分別変更で、プラスチック製容器包装が可燃ごみに混入

昨年度から資源とごみの分別区分が変更され、これまで不燃ごみだったプラスチック製品が、原則として可燃ごみになりました。しかし、区分変更にともない、資源とごみの分別に乱れが生じています。

田口議員の指摘に対し、市環境局は「可燃ごみに混ざっているプラスチック製容器包装の割合が、区分変更の前後で4.4%から5.6%に増えた」ことを明らかにしました。同じプラスチックだから容器包装も「可燃」と誤解しているのです。市環境局も「混乱を生じさせた」と認めました。

小型家電もわかりにくい

コンセントを使わない小型家電は可燃ごみ、コンセントを使う小型家電（充電式も含む）は不燃ごみです。市の説明は「コンセント使用の小型家電は金属の割合が多いから」です。

田口議員は委員会



家庭系ごみの組成分析結果 (%)

区分		2010年度	2011年度	
可燃ごみ	厨芥類	34.84	35.93	
	紙類	紙製容器包装	3.15	3.65
		紙パック	0.31	0.36
		その他紙類	27.77	28.07
	草木類	16.52	10.39	
	繊維類	4.15	5.80	
	プラスチック類	プラスチック製容器包装	4.40	5.63
		ペットボトル	0.10	0.08
		その他プラスチック類	2.33	3.50
		その他可燃物	4.78	4.80
その他		空きびん 0.14 0.06 空き缶 0.04 0.05 その他不燃物 1.46 1.67		
計	100	100		
不燃ごみ	びん・ガラス類	空きびん	1.50	1.17
		その他	5.44	8.02
	金属類	空き缶	0.59	0.72
		その他	17.68	18.24
	その他不燃物	23.20	45.68	
	プラスチック類	プラスチック製容器包装	5.22	2.87
		ペットボトル	0.47	0.03
		その他	31.78	15.38
	ゴム皮革類	2.21	2.28	
	紙類	紙製容器包装	0.66	0.26
紙パック		0.09	0.00	
その他		1.15	0.76	
繊維類	3.69	2.20		
その他可燃物	6.32	2.39		
計	100	100		

(注1) 四捨五入のため計が一致しない場合がある
(注2) 同一の4地域において、600世帯を対象に年2回調査を実施している。

の場で、二つの電気カミソリを示しました。写真の左側は「不燃」、右側は「可燃」に分けてくれと言います。しかし、外見はまったくいっしょです。今年8月に「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」、いわゆる小型家電リサイクル法が制定されました。小型家電は、資源として分別収集することが、ごみ減量になりますし、市民にとってもわかりやすいのではないのでしょうか。

小型家電のリサイクルへ 環境局で回収方法など検討中

名古屋市は昨年度と一昨年度、国の「使用済小型家電からのレアメタル回収モデル事業」に協力。昨年度は、市内3店舗にボックスを置き211個の小型家電を回収。来店者への聞き取り調査では約86%から「回収に協力する」と回答がありました。

不燃ごみ中の小型家電の潜在量調査から年間1600トン程度の回収が見込まれます。環境局は「各戸収

ごみ・資源量の推移 (単位:t)

区分		2010年度	2011年度	
市内分	ごみ	可燃ごみ	367,879	390,173
		不燃ごみ	44,551	21,837
		粗大ごみ	7,728	8,120
		環境美化	1,689	1,800
		発火性危険物	492	499
		計	422,340	422,429
	自己搬入	可燃ごみ	172,188	189,389
		不燃ごみ	27,500	9,550
	計	199,688	198,939	
	ごみ処理量	計	622,029	621,368
資源	空きびん	20,088	17,472	
	空き缶	4,550	3,787	
	プラスチック製容器包装	30,774	28,191	
	紙製容器包装	15,672	13,760	
	ペットボトル	8,644	8,145	
紙パック	153	137		
資源収集量	計	79,882	71,491	
他市町分	可燃ごみ	47,532	48,135	
	不燃ごみ	2,978	2,761	
	合計	50,509	50,896	

(注1) 四捨五入のため、計が一致しない場合がある
(注2) 2011年度は台風15号に伴う災害ごみ量を除く

集では抜き取りなどで（携帯電話などの）個人情報保護の課題もある。ボックス回収の場合は、買い物のついでに出してもらえると、回収方法などを検討していることを明らかにしました。

田口議員は小型家電リサイクル法の制定を受けて、小型家電回収を早急に実施するよう求めました。